

株主メモ

- 決算期 毎年3月末日
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 〒135-8722
- 電話お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
- 同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
- 公 告 掲 載 紙 日本経済新聞
- 決算公告のホームページのご案内

当社の決算公告は、定款紙による決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社のホームページ (<http://www.central-uni.co.jp>) に掲載することとしましたので、こちらでご覧いただけます。

単元未満株式の買増制度の導入について

単元未満株式を有する株主様は、当社に対しその単元未満株式の数と併せて1単元になる数の株式を買増請求することができることとなります。お手続きなどの詳細につきましては名義書換代理人あてご照会ください。なお、保管振替制度ご利用の株主様はお取引証券会社あてご照会ください。

第56期 中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当社第56期中間期(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)が終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。何卒ご高覧の上、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月



代表取締役社長
西坂 崇

営業の概況 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

1. 当中間連結会計期間の概要

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢は依然として厳しさが残るものの、企業収益が改善するとともに個人消費も持ち直し、景気回復に向けて着実な足取りを見せております。

このような状況のもと、医療を取り巻く環境は、診療報酬の改定、薬価の引き下げが予定され、病院経営が厳しさを増しております。一方、厚生労働省が安心して質の高い医療提供体制の充実のため、医療安全対策の総合的推進、救急医療の充実などに取り組む方針を示しており、急性期医療における診断群分類別包括評価(DPC)による定額払いの導入、大学病院の独立行政法人化など病院の経営効率化への意識が高まっております。

このような環境の変化を踏まえ当社グループは、地方公共団体の公的予算の削減による病院設備投資の抑制及び建設業界の競争激化による受注単価の下落などの影響を受けましたが、高度医療を担う急性期病院の建て替え、リニューアル市場へ向け、積極的な営業展開を行った結果、売上高は65億33百万円(前年同期比10.2%増)となりました。利益におきましては、不動産の処分などの費用を計上したことにより原価が増加しましたが、全社的な販管費削減に注力した結果、営業損失は前中間連結会計期間から1億66百万円改善し3億99百万円、経常損失は前中間連結会計期間から1億60百万円改善し3億74百万円、中間純損失は前中間連結会計期間から70百万円改善し2億83百万円となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。

(医療設備)

大型受注物件の医療ガス供給設備等の売上高が増加し、売上高は31億30百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

(病院内機器)

注射薬自動払出装置の消耗品等の売上高が増加し、売上高は6億30百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

(受託業務)

病院内の物流管理システムの受託件数が増加し、売上高は22億69百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

(その他)

診療材料等の売上が減少し、売上高は5億2百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

なお、当中間連結会計期間末の受注残高は86億82百万円となりました。

2. 通期(18年3月期)の見通し

今後のわが国の経済は、国内設備投資の伸長など、着実な成長が期待されます。病院を取り巻く環境は、国の総医療費抑制策のもと、医療制度改革が進み、病院の統廃合、大学病院の独立行政法人化、診断群分類別包括評価(DPC)による定額払いの拡大など変革期にあります。また、病院機能を明確化し、医療の質の向上、安全性を高めることが注目されております。

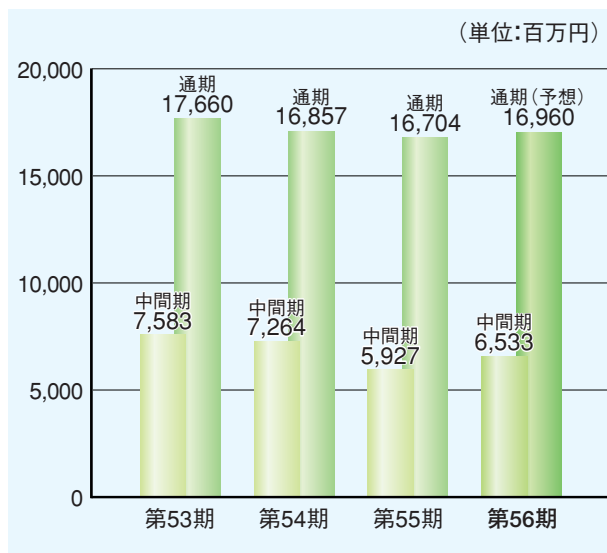
このような環境に対し、当社グループは、高度医療を担う急性期病院に対し、安全・確実性を追求した医療設備の構築をグループを通じて提案し、コンサルティングから保守管理まで一貫したサービスが提供できる強みを活かし、コア商品である医療設備機器のシェア拡大ならびに院内感染防止機器、経営効率化機器の拡販、病院内の物流管理システムの受託、医療設備保守点検及びオートアンプルディスペンサー(注射薬自動払出装置)の保守点検の受託数確保に努めます。

また、現在、「スリム」「シンプル」「スピード」のキーワードをもとに社内改革を行っており、各種プロジェクトを立ち上げ、医療機関に対してトータルソリューションを提供し続ける企業を目指しております。

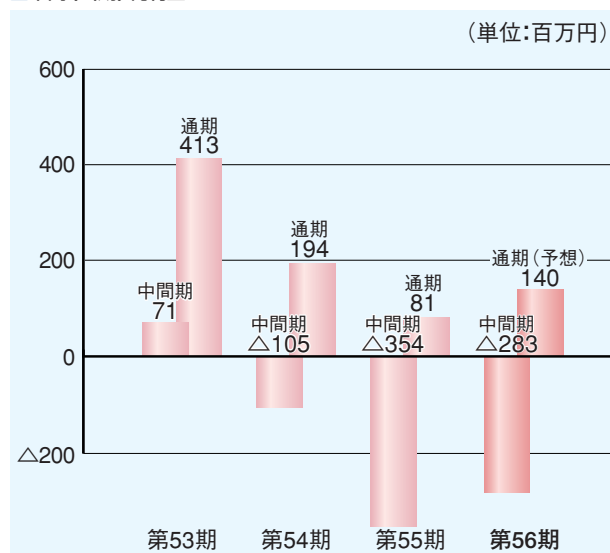
なお、平成18年3月期の連結業績予想につきましては、売上高169億60百万円、営業利益3億5百万円、経常利益3億30百万円、当期純利益1億40百万円を見込んでおります。

業績の推移 (連結)

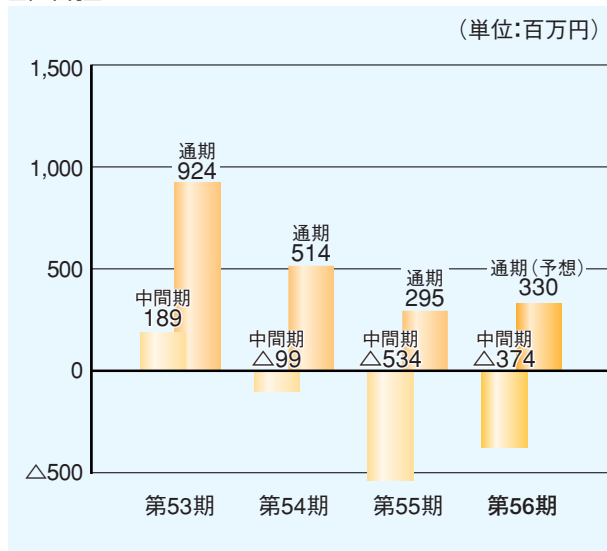
売上高



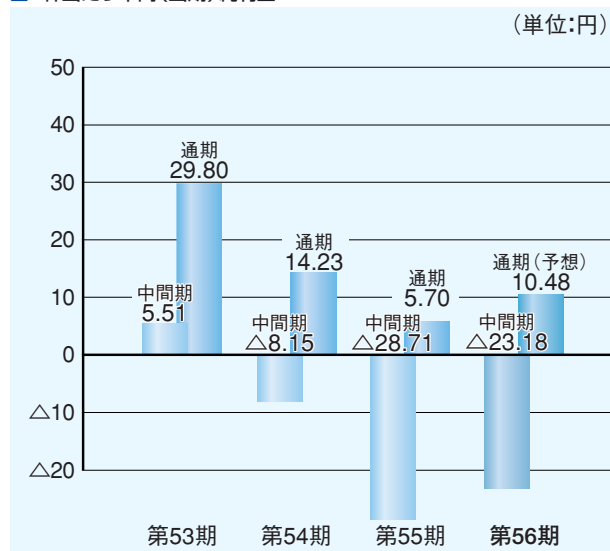
中間(当期)純利益



経常利益



1株当たり中間(当期)純利益



中間貸借対照表(連結)

平成17年9月30日現在

(単位：千円)

科 目	金 額
■ 資産の部	
流動資産	13,321,318
現金	4,380,351
預金	3,719,758
受取手形及び売掛金	30,548
有価証券	3,915,119
たな卸資産	298,996
繰延税金資産	984,117
繰延税金負債	△7,572
固定資産	5,254,689
有形固定資産	3,651,561
建物及び構築物	1,543,956
器具及び備品	217,238
土地	1,872,594
その他	17,772
無形固定資産	248,580
投資その他の資産	1,354,547
投資有価証券	568,169
繰延税金資産	275,644
繰延税金負債	516,980
繰延税金負債	△6,246
繰延税金負債	4,860
資産合計	18,580,868
■ 負債の部	
流動負債	4,816,975
支払手形及び買掛金	2,760,667
短期借入金	415,000
1年以内償還予定の社債	125,000
未払法人税等	133,940
未払消費税等	73,311
未払消費税等	35,087
前賞与受引当金	777,240
繰上り受引当金	200,901
繰上り受引当金	295,827
固定負債	1,519,959
長期借入金	187,500
退職給付引当金	540,000
退職給付引当金	785,949
退職給付引当金	4,359
退職給付引当金	2,150
負債合計	6,336,934
■ 少数株主持分	89,856
■ 資本の部	
資本	1,707,000
資本剰余金	2,863,065
利益剰余金	7,915,012
その他有価証券評価差額金	81,168
為替換算調整勘定	△10,407
自己株式	△401,761
資本合計	12,154,076
負債、少数株主持分及び資本合計	18,580,868

(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額は1,974百万円であります。
2.1株当たりの中間純損失は23円18銭であります。
3.記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書(連結)

平成17年4月1日から
平成17年9月30日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
■ 経常損益の部	
売上高	6,533,369
売上原価	4,730,168
売上総利益	1,803,201
販売費及び一般管理費	2,202,695
営業損失	399,494
営業外収益	42,077
営業外費用	16,812
経常損失	374,228
■ 特別損益の部	
特別利益	14,744
特別損失	25,798
税金等調整前中間純損失	385,282
法人税、住民税及び事業税	66,726
法人税等調整額	△176,773
少数株主利益	8,469
中間純損失	283,705

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書(連結)

平成17年4月1日から
平成17年9月30日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	435,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	184,481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△278,482
現金及び現金同等物に係る換算差額	449
現金及び現金同等物の増減額	341,581
現金及び現金同等物の期首残高	3,746,406
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,087,988

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表(単独)

平成17年9月30日現在

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
■ 資産の部		■ 負債の部	
流動資産	10,453,787	流動負債	3,349,191
現金及び預金	3,489,882	支払手形	314,144
受取手形	1,516,122	買掛金	1,575,550
売掛金	921,701	工事未払金	389,333
完成工事未収入金	348,991	一年以内返済予定の長期借入金	80,000
たな卸資産	3,131,270	未払金	70,076
繰延税金資産	214,791	未払法人税等	11,995
その他	837,327	未成工事受入金	689,332
貸倒引当金	△6,300	賞与引当金	97,333
固定資産	5,153,954	その他	121,425
有形固定資産	3,534,413	固定負債	1,157,000
建物	1,448,061	長期借入金	540,000
土地	1,872,594	退職給付引当金	610,490
その他	213,757	役員退職引当金	4,359
無形固定資産	164,854	その他	2,150
投資その他の資産	1,454,687	負債合計	4,506,192
投資有価証券	856,110	■ 資本の部	
繰延税金資産	216,939	資本金	1,707,000
その他	383,506	資本剰余金	2,863,065
貸倒引当金	△1,869	資本準備金	2,863,061
資産合計	15,607,742	自己株式処分差益	3
		利益剰余金	6,852,078
		利益準備金	243,000
		任意積立金	6,300,000
		中間未処分利益	309,078
		その他有価証券評価差額金	81,168
		自己株式	△401,761
		資本合計	11,101,550
		負債・資本合計	15,607,742

(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額は1,717百万円であります。
2.1株当たりの中間純損失は15円83銭であります。
3.記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書(単独)

平成17年4月1日から
平成17年9月30日まで

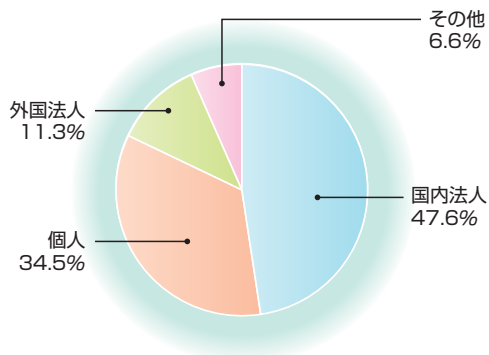
(単位：千円)

科目	金額
■ 経常損益の部	
売上高	3,505,531
売上原価	2,421,146
売上総利益	1,084,384
販売費及び一般管理費	1,459,506
営業損失	375,122
営業外収益	87,130
営業外費用	17,504
経常損失	305,497
■ 特別損益の部	
特別利益	14,744
特別損失	25,692
税引前中間純損失	316,444
法人税、住民税及び事業税	5,178
法人税等調整額	△127,861
中間純損失	193,761
前期繰越利益	502,840
中間未処分利益	309,078

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

- 会社が発行する株式の総数20,000,000株
- 発行済株式総数12,979,200株
- 1単元の株式数.....1,000株
※平成17年11月1日より1単元の株式数を100株に変更いたしました。
- 株主数.....313名
(前中間期末比 440名減)
- 株式所有者別状況



大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
増田投資事業有限責任組合	4,938,200	38.0
日興シティグループ証券株式会社	963,000	7.4
増田貞満	879,620	6.8
株式会社セントラルユニ(自己株式)	746,650	5.8
クレジットスイスファーストボストンヨーロッパ ビービーセカイエヌティノントリークライアント	727,000	5.6
荒井精一	622,440	4.8
シーエスピーユービークライアントエスピービル	438,000	3.4
セントラルユニ従業員持株会	373,300	2.9
清水政儀	322,000	2.5
清水美佐緒	294,000	2.3

会社の概要 (平成17年9月30日現在)

- 会社名 株式会社セントラルユニ
- 証券コード 7706
- 英訳名 CENTRAL UNI CO.,LTD.
- 代表者 代表取締役社長 西坂 崇
- 設立 昭和26年9月
- 資本金 17億7百万円
- 所在地 北九州市小倉北区清水一丁目13番20号
- 従業員 221名
- 支社 7ヶ所
- 工場 1ヶ所

取締役及び監査役

代表取締役社長	西坂 崇
代表取締役副社長	増田 順
専務取締役	西崎 積
取締役	田中 伸一
取締役	柴原 明彦
常勤監査役	藤山 要三
監査役	山口 幹
監査役	高松 向幹
監査役	尾 尚弘

主要な事業内容(連結)

当社グループは、医療設備機器のメーカーとして製造及び販売を行うほか、病院内物流管理受託業務、医療設備保守受託業務を手かけるなど、機能的で安全な環境づくりを提供しております。

品目別区分		主要品目
医療設備	医療設備工事	医療用ガス供給設備工事、手術室関連設備工事、ICUウォール工事、病室用ウォール工事
	医療設備製品	湿潤器、吸引器、医療ガス供給設備製品、手術室関連設備製品、ICUウォール製品、病室用ウォール製品
病院内機器		物品管理システム、フードサービス管理システム、ディスインフェクター、注射薬自動ピッキング装置、ユニ・オムニセル
受託業務	物流管理	医療用消耗品の搬送及び在庫管理受託業務
	医療設備保守	医療設備保守受託業務
その他		サインシステム、ガス滅菌器(アンプロレン)、福祉・介護関連商品